

DUSTLESS SANDER

吸じんサンダ

SDS-250 取扱説明書



このたびは吸じんサンダをお買上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「△注意」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。

注意

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本機工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、防じんマスクを着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

注意

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しや断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をして下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切って下さい。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないで下さい。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いて下さい。
 - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

注意

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
 - ・ コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
 - ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をして下さい。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用下さい。
 - ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用下さい。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

■部品の名称

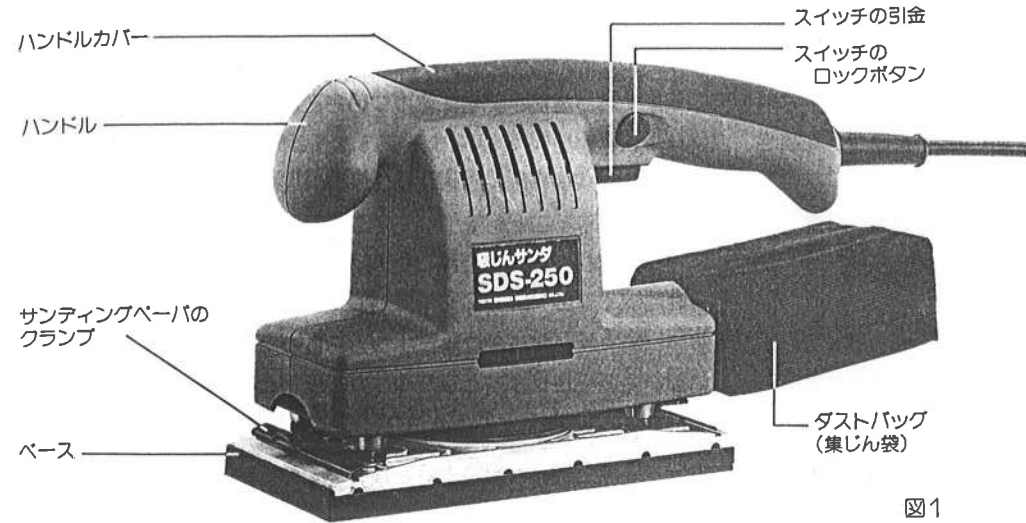


図1

■付属品の明細

品名	寸法	数
サンディングペーパー (荒目、# 80)	巾93×長240mm	1枚
サンディングペーパー (中目、#100)	巾93×長240mm	1枚
サンディングペーパー (仕上、#120)	巾93×長240mm	1枚
ダストバッグ		1ヶ
サンディングペーパーのパンチプレート		1ヶ

※市販のサンディングペーパーをご使用のときは、巾93×長240mm以上のものをご使用下さい。
使用時大きすぎるときはカットして下さい。

■仕様明細

型番	SDS-250	無負荷回転数	10,000回分
電圧	100V	2重絶縁	回
周波数	50/60Hz	ベースの寸法	90×183mm
定格消費電力	260W	ペーパーの寸法	93×240mm
定格消費電流	2.8A	重量	1.7kg

■集じんサングのご使用上のご注意

- 作業中は安全衛生上集じん袋（ダストバッグ）を取りつけ、保護メガネ、マスクの着用をおすすめします。
- サンドペーパーの取り付け、取りはずしの際は電源からプラグを抜いて下さい。
- 材料は確実に固定してからご使用下さい。又、周囲の人の安全確保に十分注意して作業をして下さい。
- 水や研削液等をかけて使用しないで下さい。又、上向に使用しないで下さい。
- 本機を能力以上に押しつけて無理な作業をしないで下さい。

■延長コードについて

- 延長コードを使用するときは本機を最高の能率でご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くご使用下さい。
- 延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（公称断面積）	コードの長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m

■サンディングペーパーの取付、取りはずし方法

注取付、取りはずしの際はスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。

- ペーパーをベースにおいて左右を折り曲げて下さい（左右の寸法が同じになるように折り曲げて下さい）。
- サンディングペーパーのクランプの中央部についているレバーを上上げてペーパーの片方はさみ込んで下さい。
- 次にペーパーをベースに合わせて張り、もう一方のクランプを上上げてはさみ込んで下さい。

注ペーパーはたるみのないよう十分に張って下さい。

図2、図3参照

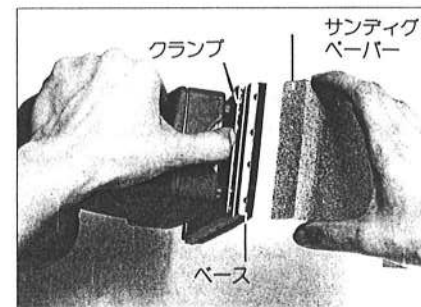


図2

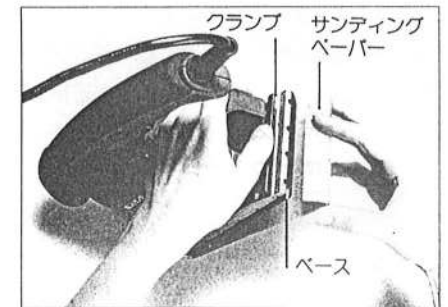


図3

■サンディングペーパーの穴あけ

- ベースの下面に吸じん用の穴があいています。
- サンディングペーパーに穴をあけないと吸い込みませんので付属のパンチプレートで穴をあけて下さい。
- 穴あけ方法はベースにサンディングペーパーを張ったあと、パンチングプレートをペーパーの上に置いて押しつけますと穴があきます。
- パンチプレートはベースの2面の直角部に合わせて下さい。

注ベースの穴とパンチプレートのピンが合わないときは、ベースのマットを傷めます。 図4参照

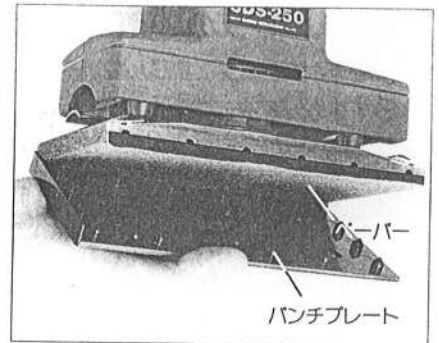


図4

■ダストバッグの取り付け、

- サンダで研磨すると粉じんが発生します。
- 粉じんをダストバッグに吸い込ませてご使用下さい。
- ダストバッグを差し込むときは差し込み口の突起部に合わせて差し込んで下さい。

注ダストバッグに粉じんがたまりますと吸じんが落ちますので、早めに捨てて下さい。 図5参照

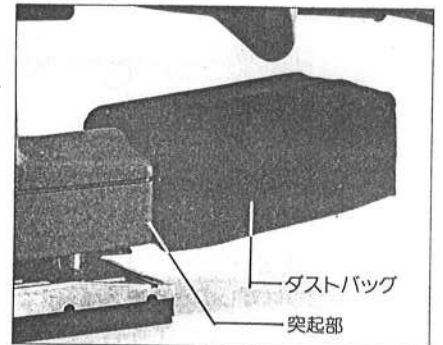


図5

■スイッチの操作

- 注電源を入れる前にスイッチの引金を引き、離すと引金が戻るかをご確認下さい。
- スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金を引いてロックボタンを押しますと、スイッチの引金を離しても連続運転します。停止させるときは、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離して下さい。

図6参照

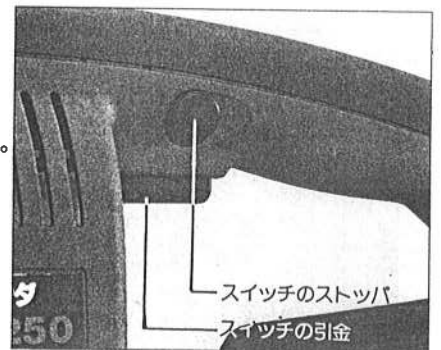


図6

■研磨方法

- 研磨する材料にペーパー面を当て本機を軽く押えて作業をして下さい。
 - サンディングペーパーを長時間使用しますと目づまりをおこします。時々、粉じんを取り除いて作業をして下さい。
- ④ ベース損傷防止のためペーパーを取り付けない状態で使用しないで下さい。 図7参照



図7

■保守、点検

- 作業が終わりましたら粉じんを取り除き、乾いた布できれいにふいて湿気の少ない、お子様の手のとどかないところに保管して下さい。
- 本機が正常に作動しないとき、又、修理のときは販売店又は当社までお申しつけ下さい。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600